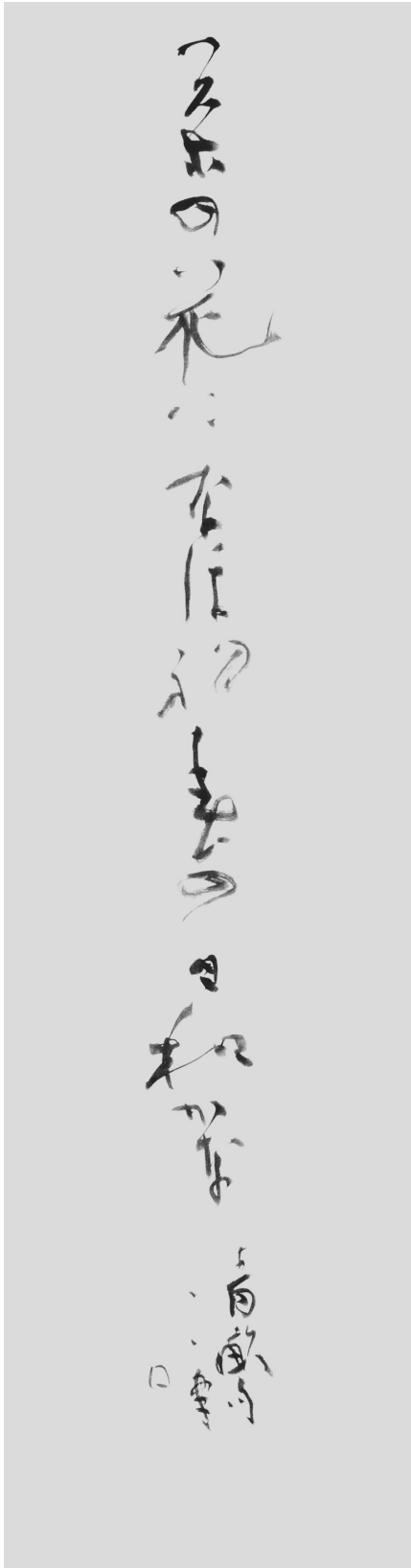


条幅部自由参考

1月25日正午必着

明石春浦先生書



茶の花になほ初春の日和かな (阿波野青畝)

森戸春濤書



はるはいずこよりきたれる  
春從二何處一來  
くちはせいのたつをささえ  
雲障二青瑣闌一  
みずをはらいまたうのおどろかす  
拂レ水復驚レ梅  
かせはしょうろのたいをふく  
風吹二承露臺一

(真均)

春はどこから来たのか、水面に残る冬の暗さを払うが如く、梅の眠りを驚かせたりして吹く。雲は青漆を塗った連鎖(雕刻)の小門をささえ、風は天から降る甘露を承けるための承露の台を吹きぬける。

1月25日正午必着

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。



明石幸子書

心織筆耕 (楮稼軒) 文人の生活であろう。

山月夜窓寒 (王申)

山月夜窓寒し

山のはにかかった月の光が窓にさして寒そうである。

細雨寒燈初夢短 (楊萬里)

細雨寒燈初夢短く、  
断猿枯木一声長し。

寒燈の下に細雨をききながら寝ると夢も長く結ばれない  
(初夢は寝入りばなの夢) 枯木の林からは時折り声長く  
猿のなくのが聞えて来る

寄陸睦州 (許棠)

陸睦州に寄す 許棠

下國多高趣 終年半是吟

下國 高趣多し 終年 半はは是れ吟

汐潮通越分 部伍雜蠻音

汐潮 越分に通じ 部伍 蛮音を雜う

曉郭雲藏市 春山鳥護林

曉郭 雲 市を藏し 春山 鳥 林を護る

東遊雖未遂 日日至中心

東遊 未だ遂げずと 雖も 日日 中心に至る

木洩日の日ざし袖にあり森なかの路をゆきつつけふは元日 (若山 牧水)

半紙部規定課題A

1月25日正午必着

消 何  
夏 處  
可

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

1月25日正午必着

行書

何處可  
消憂

隸書

何處可  
消憂

明石春浦先生書

草書

何處可  
消憂

行草書

何處可  
消憂

地上見たすかぎり朝の日ざしが満ちわたり 空のはてに昨夜来の霧も消え去った  
風は残雪をまじえつつ吹き起り 河の水はくだけた氷を浮べつつ流れる  
北方の宮門に心のすべてを捧げているが 南を指してなおも旅中の身の上  
高みに上って見はるかせば、もの思いははてしなく 憂愁の心を癒すところをどこに見出せよう

冬日野望

于良史

地際朝陽滿  
天邊宿霧收  
風兼殘雪起  
河帶斷冰流  
北闕馳心極  
南圖尙旅游  
登臨思不已  
何處可消憂

冬日の野望

于良史

地際 朝陽滿ち  
天辺 宿霧収まる  
風は残雪を兼ねて起り  
河は断氷を帯びて流る  
北闕 心極を馳せ  
南図 尚お旅游す  
登臨して 思い已まず  
何れの処にか 憂いを消す可き



西 墨濤先生臨書

自詛



於心者歸咎為己戲。失於思者。自詛為己

清 鄧石如・張子東銘

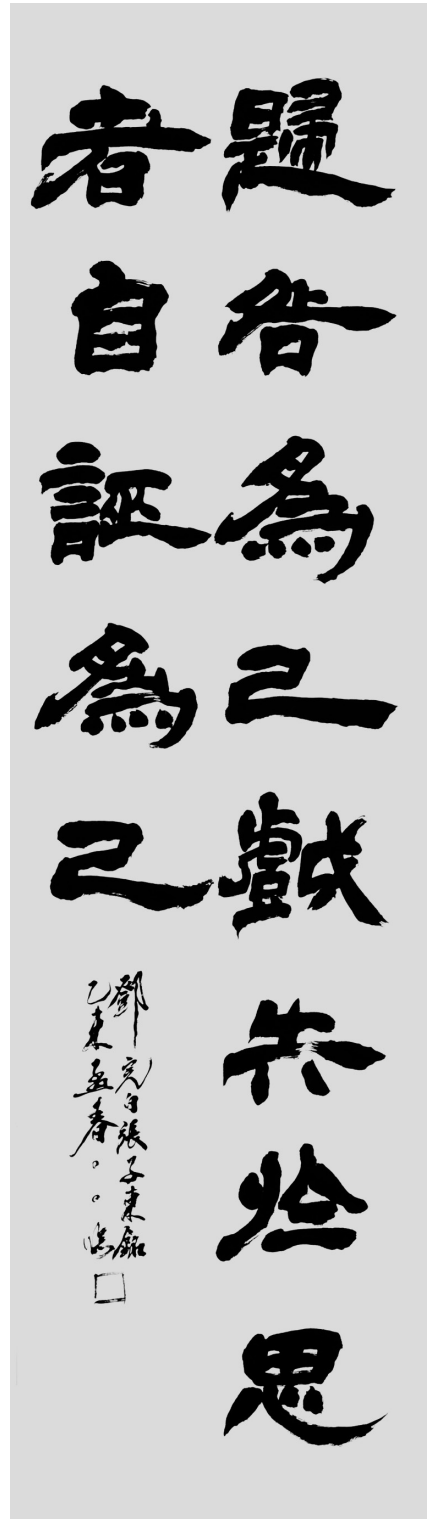
鄧石如（一七四三〜一八〇五）名は琰、字は石如。後に石如を名とし、字を頑伯と改めた。皖公山の麓に居をかまえていたことから、完白山人とも号した。官途には就かず、名家を訪ね、各地を放浪しながら書を学び、書や印を売って生計を立てた。篆刻の技に秀でたものがあつたが、篆書や篆刻は父親の木斎から教えられたもので、特に師匠についているわけではない。篆隸楷行草の各体及び、特に師匠についているわけではない。篆隸楷行草の各体及び、特に師匠についているわけではない。篆隸楷行草の各体及び、特に師匠についているわけではない。

（春龍）



△做書参考▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。



歸咎為己戲失於思者。自誣為己



雨宮春聲先生書

はつ  
初

ゆめ  
夢

中学一年



菅井松雲先生書

けん  
剣

ぶ  
舞

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

せい

じ

小学五年



藤井良泰先生書

まつ

ば

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



1月25日正午必着



たい あん  
大 安

小学三年

藤田幸春先生書



へい せい  
平 成

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

た か 小学一年・幼年



森戸春濤書

子 犬 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

年賀じょうを送る	友だちへ心をこめて
----------	-----------

小学五年

年頭のあたって自分	なりの目標を立てる
-----------	-----------

小学六年

五色雲が初光を浴	びて東の空に浮かぶ
----------	-----------

中学

真実の中には多くの	美しさが存在する
-----------	----------

一般(級位)

新たな年のふれども面影	のまは目のまうにさゆる心か
-------------	---------------

一般(段位)

あらたの年のふれども おもかげのなほ目の前に まへ見ゆる心か こころ(良寛)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

で	お
	お
か	き
る	な
た	
と	こ
り	え

幼年

た	か
こ	せ
が	に
上	の
が	っ
っ	て
た	

小学一年

ぞ	家
う	ぞ
に	く
を	み
食	ん
べ	な
た	て

小学二年

お	真
く	心
り	を
物	こ
を	め
す	て
る	

小学三年

書	お
き	正
ぞ	月
め	に
を	家
し	ぞ
た	く
	で

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

さみだれに  
たまえの水や  
まさるらむ  
あしの下葉の  
かくれ行くかな

し

あ  
の  
下  
葉  
の  
水  
や

まさるらむ

あし

源通時



岩本景楓先生書

さみだれに  
三多連  
たまえの水や  
万江  
まさるらむ  
万流  
あしの下葉の  
乃  
かくれ行くかな  
可那  
(源通時)